

令和元年飯田市議会第4回定例会代表質問通告表

令和元年12月4,5日

No.	氏名	項目・要旨
1	山崎昌伸 (会派のぞみ) 【 120 分 】	<p>1 市長の市政経営のあり方と来年度予算編成について</p> <p>(1) これまでの市政経営をどう総括するか</p> <p>(2) 来年度予算編成にあたり、どのような方針で臨むか</p> <p>(3) 市長にとってのリーダーシップのあり方とは</p> <p>2 地域自治組織のあり方について</p> <p>(1) 地域自治組織の負担感の増大について、どのように分析しているか</p> <p>(2) 組合未加入問題において、市長自身が苦勞していることは何か</p> <p>3 リニア関連事業について</p> <p>(1) 駅周辺整備における移転交渉の進捗状況は</p> <p>(2) リニア関連工事における地域への経済波及効果は</p> <p>4 産業振興について</p> <p>(1) エス・バードがもたらす地域経済への波及効果、地場産業の進展などの見通しは</p> <p>(2) 農業振興ビジョンの進行状況と見えてきた課題は</p> <p>5 公共施設マネジメントについて</p> <p>(1) 「飯田市公共施設マネジメント基本方針」における、優先検討施設の検討状況は</p> <p>(2) サウンディング型市場性調査の検討状況は</p> <p>6 ブランディング、シティプロモーションについて</p> <p>(1) IIDAブランド推進課の取り組み状況は</p> <p>7 子育て、教育について</p> <p>(1) 保育士・保育補助員の充足状況はどうか</p> <p>(2) 中学校の運動部活動等における新たな活動方針の目的は</p> <p>8 安全安心な社会の構築について</p> <p>(1) 今秋の台風による災害から当市が教訓とすべき点は何か</p> <p>(2) 公共施設における設置物の倒壊防止策は十分か</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	山 崎 昌 伸 (会派のぞみ) 【 120 分 】	<p>9 環境への取り組みについて</p> <p>(1) 環境モデル都市、環境文化都市のめざす姿はどのようなものか</p> <p>(2) 環境への取り組みをシビックプライドまで高めるための道筋は</p> <p>10 事業者との連携について</p> <p>(1) 様々な分野において事業者との連携が必要と思うが、市の考えは</p>
2	井 坪 隆 (会派みらい) 【 80 分 】	<p>1 市長の4期目の公約について</p> <p>(1) 今議会における令和元年度監査報告書Ⅱの指摘事項、並びに監査委員からの報告についてどう受け止めるか</p> <p>(2) 市政運営の目指したところと市民感覚について</p> <p>① 指針とした「善い地域づくり」を、どう自己評価するか</p> <p>② 「20地区の個性が輝き、多様なライフスタイルを実現するまちづくりを進める」とした、公約の“ことば通り”にまちづくりが進んでいるか</p> <p>(3) 「経済自立度を向上させ、若い人が帰って来られる産業づくりに取り組む」について</p> <p>① 若い人が帰って来られる産業づくりの具体的成果は</p> <p>(4) 「行財政改革」について</p> <p>① 改革が成果を上げたものは何か</p> <p>② 市政経営の観点から、指定管理者制度についてどのように取り組んできたか</p> <p>(5) 「リニア中央新幹線への取り組み」について</p> <p>① 東京、名古屋間の事業全体の進捗状況を、どうとらえているか</p> <p>② 事業費における長期的な財政見通しをどのように考えているか</p>
3	永 井 一 英 (公明党) 【 120 分 】	<p>1 これからの市政運営と来年度の予算編成について</p> <p>(1) 人口減少、少子高齢化が進む中、多文化共生社会はますます進行していく。また、すでに始まっているグローバル社会も進展すると思われるが、市はどのように対応するか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永 井 一 英 (公 明 党) 【 120 分 】	<p>(2) 市長は、今定例会の開会時あいさつの中で、国の政策形成過程への関わりに言及した。様々な視点で、県との関わりについてどのように考えるか</p> <p>(3) この10月から、社会保障の充実・少子化対策・将来世代の負担軽減に用途を限って消費税10%への引き上げが実施された。2020年度の市財政への影響は</p> <p>2 少子高齢化・人口減少時代にあつて、人と地域を生かす共生社会の構築に向けて</p> <p>(1) 地域には、高齢化、人口減少社会の進行に伴う課題が目に見える形で表れてきた。市が今まで実施してきた委託事業や地域への依頼事項などを棚卸しするとともに、課題の洗い出しと対応策の検討を再度行ってはどうか</p> <p>(2) 人と地域を生かす共生社会の構築に向けて</p> <p>① 国は、地域包括ケアシステムの進化・推進として「我が事・丸ごと」の地域づくりを推進している。一方市は、地域福祉課題検討会の立ち上げを進めている</p> <p>ア 両者に関連性はあるか</p> <p>イ めざすまちの姿に違いはあるか</p> <p>② 市は、地域課題に対応するための事業体の立ち上げを進めている</p> <p>ア 地域によっては、同じ人が関わっているため既に手一杯のところもある。市は具体的にどのように進めるか</p> <p>イ 受け皿となる組織体について、市長はどのように考えるか</p> <p>(3) 安全安心で持続可能な地域公共交通ネットワークの確保をどのように図るか</p> <p>(4) 「教育のための社会」をめざして</p> <p>① コミュニティスクールと同様に地域とのつながりを大切にしながら、幼稚園・保育園と小学校との連携をより一層図ってはどうか</p> <p>3 力強い地域経済の振興に向けて</p> <p>(1) 地域産業の活性化</p> <p>① 市は、地域産業の活性化、労働負荷軽減や省力化に資するため、AIやIoTなどをどのように地域産業に生かそうと考えているか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永 井 一 英 (公 明 党) 【 120 分 】	(2) 地域の雇用創出と人手不足の解消 ① 女性の潜在的労働力を発揮できるように地域経済活性化プログラムに位置づけ、女性が活躍できる形を作り上げてはどうか 4 気候変動への対応について (1) 生態系の現状把握と保全について、市はどのように進めるか (2) 農業などへの影響を予測した適応策が重要になると考える。市はどのように進めるか 5 防災意識社会の構築に向けて (1) 気候変動による災害発生の頻発化と激甚化に対して、市はどのように対応するか (2) 小中学校の教室の付帯設備について、耐震性は確保されているか
4	木 下 容 子 (市 民 パ ワ ー) 【 70 分 】	1 牧野市政4期16年目を迎えて (1) 任期を振り返っての市長の思いは 2 子どもを産み育てやすい環境の整備について (1) 妊娠・出産・子育て期までの途切れない支援体制について ① 安心して出産できる体制づくりは ② 「地域周産期システム」の取り組み状況は ③ 子育て・子育てを応援し、支え合う体制づくりは (2) 地域力による子どもを見守り育む体制づくりについて ① 放課後子どもプランの取り組み状況は ② 地域資源を生かした「ふるさと学習」の取り組み状況は ③ 地域での子どもの居場所づくりの取り組み状況は 3 地域で安心して暮らせるための支援体制について (1) 住み慣れた地域での生活が続けられるための対策は ① 地域福祉活動と地域包括ケアシステムとの連携は ② ごみ出し困難者対策は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 容 子 (市 民 パ ワ ー) 【 70 分 】	<ul style="list-style-type: none"> ③ 移動に支障をきたす高齢者や障がい者への対策は ④ 認知症の方や家族への支援は <p>(2) 地域包括支援センターの設置をどう進めるか</p> <p>(3) 飯田市立病院新改革プランについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飯伊地域における医療と介護の現状と課題は ② 地域包括ケアシステムにおける市立病院の役割は ③ 訪問看護ステーションの役割は ④ 市立病院としての人材確保への考え方は <p>(4) ひきこもり状態にある方や家族への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ひきこもりを長期化させないための取り組みは ② 就職氷河期世代の方への支援は <p>4 女性が輝いて生活できる社会づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 女性のワーク・ライフ・バランスの推進状況は (2) 男女共同参画を推進するための男性への働きかけは
5	後 藤 荘 一 (日 本 共 産 党) 【 70 分 】	<p>1 市長の今定例会での開会挨拶などから見る政治姿勢と新年度予算編成について</p> <p>(1) 市政運営全般を日本国憲法に基づいたもの、特に日本国憲法の持つ3原則である、基本的人権の尊重、国民主権(主権在民)、平和主義(戦争放棄)に基づくものにすべきと考えるが、市長の考えは</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市民の不安や困難に寄り添った対応ができているか ② 全国市長会副会長など重責を担う市長の活動について <p>ア 自治体として取り組む国保や介護の会計については、国の負担増の申し入れはしないか。また、TPP 11の発効、日米貿易協定の改定などで地元南信州牛はじめ国内の畜産農家が影響を受けていることに対して国に対策を申し入れはしないか</p> <p>イ 全国市長会副会長および、飯田市長として依頼される会議や講演などについて、飯田市として支出している旅費などはどういう考え方で支出しているか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後 藤 莊 一 (日 本 共 産 党) 【 70 分 】	<p>(2) 災害被害を減少させる対策について</p> <p>① 今年も全国で発生した災害、特に東北信での台風19号による災害を教訓に飯田市で対策を考えることは、内水氾濫対策と堤防強化にあると思うがどうか</p> <p>② 1千世帯を超える土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)指定の解消を市として図っていく考えは</p> <p>(3) 消費税がこの10月に増税されたが、飯田市における市民への影響は</p> <p>① 消費者や市内の業者への影響は</p> <p>② 市財政への影響は</p> <p>③ 市長は今回の増税に「ネクストステージに向けた都市自治体の税財政のあり方に関する研究会」で期待を寄せていたが、現在はどうか</p> <p>④ 2023年から「適格請求書発行事業者登録(インボイス)」制度が始まるが、対策は考えているか。また、国へ中止を申し入れる考えは</p> <p>(4) 2021年度から見直される介護保険事業計画はどういう方針で取り組むか</p> <p>① 介護保険料についてはどう考えるか</p> <p>(5) 飯田下伊那地方の賃金状況について</p> <p>① 県内で比較するとどうか</p> <p>② 公契約条例の制定で、公共事業から地域の賃金の上げを図ったらどうか</p> <p>(6) 現在飯田市内で自治会からの脱退や休会が発生していることを認識しているか、その対応は</p> <p>① 地区に単位自治会等の自治活動を支援する職員を配置する考えは</p> <p>(7) リニア中央新幹線計画について</p> <p>① 駅周辺整備基本設計について</p> <p>ア トンネル工事などの本線工事が遅れている今、周辺整備を立ち止まって見直す考えは</p> <p>イ 6.5ヘクタールは必要なものを積み上げたものか</p> <p>② 残土置き場について</p> <p>ア 下流域への説明がはじまるようだが、市として安全性の確認は行っているか</p>